

平成20年度データと前年度までのデータの比較※

化学物質排出把握管理促進法に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果は、以下のとおりです。

※平成19年度データについては、昨年2月の公表後に変更のあった届出事項を修正したものをを用いています。

1. 届出事業所数

届出のあった事業所数は、表1のとおりで、平成20年度は198事業所で前年度より3事業所減少しました。

2. 届出排出量・移動量

平成20年度分の届出排出量・移動量の合計は1,894トンで前年度より48トン増加しました。排出量については607トンで前年度より111トン減少、移動量については1,288トンで前年度より160トン増加しました。

排出量の内訳は、大気への排出が526トンで前年度より105トン減少、公共用水域への排出が80トンで前年度より7トン減少、土壌への排出が0トンで前年度と変わらず、事業所内の埋立処分が0トンで前年度と変わりませんでした。

移動量の内訳は、下水道への移動が0.2トンで前年度とほぼ変わらず、事業所外への廃棄物としての移動が1,288トンで前年度より160トン増加しました。

表1 届出排出量・移動量の経年変化

単位:kg/年

排出先		H20年度	H19年度	H18年度	H17年度	H16年度
排出量	大気	526,432	631,364	624,588	640,043	641,472
	公共用水域	80,094	86,783	75,872	69,420	82,874
	土壌	0	0	0	0	420
	埋立処分	0	0	22,023	44,028	22,128
	合計	606,525	718,147	722,484	753,491	746,893
移動量	下水道	172	199	170	170	1,658
	廃棄物	1,287,389	1,127,720	1,070,358	670,500	536,554
	合計	1,287,561	1,127,919	1,070,528	670,670	538,212
排出量・移動量の合計		1,894,086	1,793,012	1,846,066	1,793,012	1,424,161
届出事業所数		198	207	201	207	215

(1) 業種別の届出排出量・移動量

平成16年度から20年度の届出排出量・移動量の業種別経年変化は次のとおりです。

単位:kg/年

業種名	H20排出量・移動量の合計				
	H20	H19	H18	H17	H16
製造業	1,777,915	1,735,882	1,663,972	1,288,535	1,138,110
食料品製造業	20,510	25,410	28,650	27,050	11,310
木材・木製品製造業	6,810	7,570	5,100	4,450	4,560
化学工業	53,481	67,615	60,688	43,363	60,189
医薬品製造業	143,860	93,314	123,730	276,282	247,040
石油製品・石炭製品製造業	3,451	4,118	3,899	3,659	10,474
プラスチック製品製造業	9,700	11,200	7,600	7,000	6,400
窯業・土石製品製造業	3,681	7,581	8,922	6,524	6,457
鉄鋼業	1,000,981	815,768	812,930	318,645	118,243
非鉄金属製造業	91,876	117,075	106,297	124,196	153,396
金属製品製造業	220,348	237,605	217,731	211,011	235,188
一般機械器具製造業	217,270	342,419	282,505	256,294	273,049
電気機械器具製造業	1,010	1,550	860	1,100	970
輸送用機械器具製造業	537	456	1,060	961	1,435
医療用機械器具・医療用品製造業	4,400	4,200	4,000	6,400	7,000
その他の製造業	—	—	—	1,600	2,400
電気業	0	0	—	3,200	1,900
熱供給業	—	—	3,440	—	—
下水道業	34,070	32,662	34,829	30,696	25,008
倉庫業	10,351	4,251	7,902	7,741	10,202
石油卸売業	0	0	—	0	0
燃料小売業	9,628	8,649	8,837	8,961	7,659
洗濯業	8,370	7,050	9,670	15,210	14,770
自動車整備業	31,054	39,277	46,294	53,622	63,360
機械修理業	2,500	2,000	1,800	—	—
商品検査業	5,501	3,601	3,601	3,701	4,301
計量証明業	2,457	2,753	2,884	1,485	9,504
一般廃棄物処理業(ごみ処分量に限る)	448	240	161	651	1,289
産業廃棄物処分量	0	0	0	0	—
高等教育機関	10,193	6,400	5,900	6,158	3,801
自然科学研究所	1,601	3,301	3,722	4,201	5,201
合 計	1,894,086	1,846,066	1,793,012	1,424,161	1,285,105

※1 排出量・移動量の合計は、各事業所から届けられた当該データの合計について小数点第1位で四捨五入し、整数表示したもので、本集計表の排出量等の各欄を合計した数値とは異なる場合がある。また、表中「—」は当該年度に届出なしを示す。

(2) 届出排出量・移動量上位10物質

平成20年度分の届出排出量・移動量の上位10物質の合計は1,674トンで前年度より41トン増加しました。

物質別にみると、上位10物質中クロム及び三価クロム化合物、クロロホルムの2物質が前年度より増加、トルエン、キシレン等8物質が前年度より減少しました。

表2 届出排出量・移動量上位10物質の経年変化

単位: kg/年

順位	物質番号	物質名	届出排出量・移動量の合計				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	68	クロム及び三価クロム化合物	721,168	531,344	532,346	102,564	24,336
2	227	トルエン	339,979	386,220	338,430	376,159	344,609
3	63	キシレン	215,262	256,999	222,120	192,032	212,826
4	40	エチルベンゼン	85,211	119,459	97,725	89,316	97,052
5	311	マンガン及びその化合物	71,243	71,750	74,911	56,508	4,358
6	231	ニッケル	64,822	85,050	80,940	27,950	21,890
7	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	62,094	74,966	70,145	72,203	56,461
8	95	クロロホルム	45,546	22,600	71,300	171,502	175,801
9	172	N, N-ジメチルホルムアミド	39,125	44,502	41,213	36,156	43,734
10	43	エチレングリコール	29,270	35,749	45,005	47,096	57,094
上位10物質の合計			1,673,719	1,628,639	1,574,136	1,171,484	1,038,160
市全体			1,894,086	1,846,066	1,793,012	1,424,161	1,285,105

(3) 届出排出量上位10物質

平成20年度分の届出排出量の上位10物質の合計は539トンで前年度より117トン減少しました。

物質別にみると、上位10物質中ほう素及びその化合物、臭化メチル等3物質が前年度より増加、トルエン、キシレン等5物質が前年度より減少しました。

表3 届出排出量上位10物質の経年変化

単位: kg/年

順位	物質番号	物質名	届出排出量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	227	トルエン	234,809	295,340	280,472	292,359	282,752
2	63	キシレン	123,982	158,954	157,496	148,492	158,084
3	40	エチルベンゼン	54,795	68,034	65,398	72,580	69,669
4	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	38,094	46,966	43,145	41,203	56,251
5	132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC-141b)	23,000	23,000	28,000	21,000	18,000
6	304	ほう素及びその化合物	16,277	15,033	13,307	10,305	10,579
7	288	臭化メチル	12,650	12,250	16,500	14,740	17,000
8	101	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	12,000	14,000	14,000	16,000	18,000
9	144	ジクロロベンタフルオロプロパン (HCFC-225)	12,000	12,000	12,000	12,000	
10	224	1, 3, 5-トリメチルベンゼン	11,411	10,800	7,531	6,932	8,339
上位10物質の合計			539,018	656,377	637,850	635,611	638,674
市全体			606,525	722,484	753,491	746,893	777,138

(4) 大気への届出排出量上位10物質

平成20年度分の大気への届出排出量の上位10物質の合計は501トンで前年度より111トン減少しました。

物質別にみると、上位10物質中臭化メチル、1,3,5-トリメチルベンゼンの2物質が前年度より増加、トルエン、キシレン等6物質が前年度より減少しました。

表4 大気への届出排出量上位10物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	大気への届出排出量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	227	トルエン	234,809	295,340	280,472	292,359	282,752
2	63	キシレン	123,982	158,954	157,496	148,492	158,084
3	40	エチルベンゼン	54,795	68,034	65,398	72,580	69,669
4	132	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン (HCFC-141b)	23,000	23,000	28,000	21,000	18,000
5	288	臭化メチル	12,650	12,250	16,500	14,740	17,000
6	101	エチレンジクロロモノエチルエーテルアセテート	12,000	14,000	14,000	16,000	18,000
7	144	ジクロロペンタフルオロプロパン (HCFC-225)	12,000	12,000	12,000	12,000	
8	224	1,3,5-トリメチルベンゼン	11,411	10,800	7,531	6,932	8,339
9	145	塩化メチレン	8,886	10,045	9,278	14,485	13,675
10	299	ベンゼン	7,555	8,017	6,861	7,864	15,041
上位10物質の合計			501,088	612,440	597,536	606,451	600,560
市全体			526,432	631,364	624,588	640,043	641,472

(5) 公共用水域への届出排出量上位10物質

平成20年度分の公共用水域への届出排出量の上位10物質の合計は80トンで前年度より7トン減少しました。

物質別にみると、上位10物質中、ほう素及びその化合物、マンガン及びその化合物等4物質が前年度より増加、ふっ化水素及びその化合物、ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル等4物質が前年度より減少しました。

表5 公共用水域への届出排出量上位10物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	公共用水域への届出排出量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	38,094	46,966	43,145	41,203	56,251
2	304	ほう素及びその化合物	16,277	15,033	13,307	10,305	10,579
3	309	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニルエーテル	8,500	9,000	2,000	5,000	
4	311	マンガン及びその化合物	6,253	3,609	6,210	5,511	3,650
5	1	亜鉛の水溶性化合物	4,288	5,648	4,173	4,161	4,212
6	346	モリブデン及びその化合物	3,000	3,000	2,900	920	740
7	232	ニッケル化合物	1,500	1,500	1,605	170	930
8	68	クロム及び三価クロム化合物	878	1,114	1,041	210	431
9	207	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	814	581	625	541	391
10	69	六価クロム化合物	176	130	131	201	330
上位10物質の合計			79,779	86,581	75,137	68,221	77,513
市全体			80,094	86,783	75,872	69,420	82,874

(6) 土壌への届出排出量上位物質

平成20年度分の土壌への排出量の届出はありませんでした。

(7) 事業所内の埋立処分の届出排出量上位物質

平成20年度分の事業所埋立処分の排出量の届出はありませんでした。

(8) 届出移動量上位10物質

平成20年度分の届出移動量の上位10物質の合計は1,212トンで前年度より159トン増加しました。

物質別にみると、クロム及び三価クロム化合物、トルエン等3物質が前年度より増加、キシレン、マンガン及びその化合物等7物質が前年度より減少しました。

表6 届出移動量上位10物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	届出移動量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	68	クロム及び三価クロム化合物	720,290	530,230	510,301	70,350	9,901
2	227	トルエン	105,170	90,880	57,958	83,800	61,857
3	63	キシレン	91,280	98,045	64,624	43,540	54,742
4	311	マンガン及びその化合物	64,980	68,130	67,760	50,960	671
5	231	ニッケル	64,822	85,050	80,940	27,950	21,890
6	95	クロロホルム	43,600	21,400	64,800	162,700	163,800
7	172	N, N-ジメチルホルムアミド	38,601	44,002	40,700	35,400	42,630
8	40	エチルベンゼン	30,416	51,425	32,327	16,736	27,383
9	43	エチレングリコール	29,130	35,629	44,845	46,946	56,944
10	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	24,000	28,000	27,000	31,000	210
上位10物質の合計			1,212,289	1,052,791	991,255	569,382	440,028
市全体			1,287,561	1,127,919	1,070,528	670,670	538,212

(9) 下水道への届出移動量上位4物質

平成20年度分の下水道への届出移動量の上位4物質の合計は0.17トンで前年度より0.03トン減少しました。

物質別にみるとN,N-ジメチルホルムアミド、3-メチルピリジン、ピリジンの3物質が前年度より減少しました。

表7 下水道への届出移動量上位4物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	下水道への届出移動量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	307	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	170	170	170	170	170
2	172	N,N-ジメチルホルムアミド	1.2	1.5	0	0	0
3	336	3-メチルピリジン	0.9	27	0	0	0
4	259	ピリジン	0.1	0.6	0	0	0
—	43	エチレングリコール	0	0	0	0	1,200
—	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	0	0	0	0	210
—	304	ほう素及びその化合物	0	0	0	0	78
上位4物質の合計			172	199	170	170	1,658

(10) 事業所外への廃棄物としての届出移動量上位10物質

平成20年度分の事業所外への廃棄物としての届出移動量の上位10物質の合計は1,212トンで前年度より159トン減少しました。

物質別にみると、クロム及び三価クロム化合物、トルエン等3物質が前年度より増加、キシレン、マンガン及びその化合物等7物質が前年度より減少しました。

表8 事業所外への廃棄物としての届出移動量上位10物質の経年変化

単位:kg/年

順位	物質番号	物質名	事業所外への廃棄物としての届出移動量				
			H20	H19	H18	H17	H16
1	68	クロム及び三価クロム化合物	720,290	530,230	510,301	70,350	9,901
2	227	トルエン	105,170	90,880	57,958	83,800	61,857
3	63	キシレン	91,280	98,045	64,624	43,540	54,742
4	311	マンガン及びその化合物	64,980	68,130	67,760	50,960	671
5	231	ニッケル	64,822	85,050	80,940	27,950	21,890
6	95	クロロホルム	43,600	21,400	64,800	162,700	163,800
7	172	N,N-ジメチルホルムアミド	38,600	44,000	40,700	35,400	42,630
8	40	エチルベンゼン	30,416	51,425	32,327	16,736	27,383
9	43	エチレングリコール	29,130	35,629	44,845	46,946	55,744
10	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	24,000	28,000	27,000	31,000	0
上位10物質の合計			1,212,288	1,052,789	991,255	569,382	438,618
市全体			1,287,389	1,127,720	1,070,358	670,500	536,554

3. 特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

平成20年度分の特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の合計は13トンで前年度より2トン増加しました。物質別にみると、石綿、6価クロム化合物、砒素及びその無機化合物が前年度より増加していますが、カドミウム及びその化合物、ニッケル化合物、ベンゼンが前年度より減少しました。ダイオキシン類については、排出量・移動量の合計は8.3g-TEQで前年度の4.3g-TEQより4.0g-TEQ増加しました。

特定第一種指定化学物質の排出量・移動量

